

## 議会改革特別委員会検討内容（令和8年5月25日）

特定事件「議会改革について」、検討事項の各項目について、項目ごとに意見交換を行いました。

各項目についての各会派の意見等は、次のとおりです。

### 《通年議会について》

				提案会派 市民共同
草加自民党・無所属の会	SOKA新政	公明党	立憲民主党	
議会側が何をしなければいけないかはある程度分かったので、執行部側がどのような対応になるのかを（執行部側に）一度聞きたい。	やるのであれば、しっかりとしたものをつくったほうがいいという印象を持った。  (執行部意見を聴取することについて) →まとまるところでよい。	現状の運用の中でも通年議会導入で得られるメリットと同程度の対応が可能であると認識していることから、今回は現状維持として、改選後に改めて議論したい。  (執行部意見を聴取することについて) →よろしい。	検討を進めること自体はよい。執行部の意見を聞いて進めていくのがよいと思う。	執行部から意見を伺えるのであれば、そのように進めたい。

→執行部から意見を聴くため、説明員として出席要求することを決定しました。

### 《議員定数について》

				提案会派 草加自民党・無所属の会
SOKA新政	公明党	市民共同	立憲民主党	
前回と意見は同じ（現状維持）。改選が近い中で、今の議員が決めるのはどうかと思う。	基本的な意見は変わらない（現状維持）。	基本は前回と意見は同じ（現状維持）だが、前回の委員会で公明党から提案のあった議員一人当たり9,000人となる現状維持ベースとなる基準であれば、検討の余地はある。	前回と意見は同じ（現状維持）。基準を設けるのであれば、現在の人口をベースにして設定するのであれば、検討の余地はある。	基準は決めたほうがよいと思うので、一人当たり何人という基準の決め方については現状の人数をベースに見直し条項を付けるということ为好いと考えます。 今年国勢調査の結果が出るので、その値を基にして、次回の国勢調査時に見直すといった動きができればよい。

→SOKA新政に持ち帰っていただき、次回意見を確認させていただくこととなりました。

《特別委員会における質問時間について》

提案会派				
SOKA新政	公明党	市民共同	立憲民主党	草加自民党・無所属の会
基本的な考えは現状維持。今後の方向性を考えるために、9月の決算委員会でどれくらい時間を使っているのか計ることについては、まとまる場所でよい。	前回と意見は同じ（現状維持）。	基本は、反対。導入している川口市に話を聴いて事務局の苦労も認識した。仮に導入する場合は、最低条件として各委員の使用時間を公表すべき。新しい気付きがあるかもしれないので、9月の決算委員会でやってみてもよい。	前回と意見は同じ。委員の発言時間の観点から、割り振られた時間で不足がなにか試行した上で変更の余地があるなら、検討してもよい。	9月の決算委員会で試行する場合、事務局は対応可能か。（事務局に確認） →対応は可能であるが、試行するに当たって決めていただく点（ルール）がいくつかある。

→公明党に持ち帰っていただき、次回意見を確認させていただくこととなりました。

《会派の在り方について》

提案会派				
SOKA新政	公明党	市民共同	立憲民主党	草加自民党・無所属の会
	まとまる場所でよいが、最終的には団長会で協議・決定することについても明文に加えてほしい。	明文案があるなら、それを見た上で改めて協議することではないか。		明文化することがまとまるなら、案文の用意はあるが、案文の中に最終的には団長会という文言はわざわざ入れていない。 【資料（明文案）の提供】 （補足説明）監査委員に関しては、国勢調査の結果を踏まえて検討したい。

→提案会派から提案（明文案）があった内容について、各会派持ち帰りとなりました。

次回の協議内容については、通年議会について執行部から説明を受け、各検討事項についての意見交換を行うことに決定しました。

次回（第18回）の議会改革特別委員会の日程は6月定例会中に調整することとし、未定です。

日程が決定しましたら、市議会ホームページでお知らせいたします。